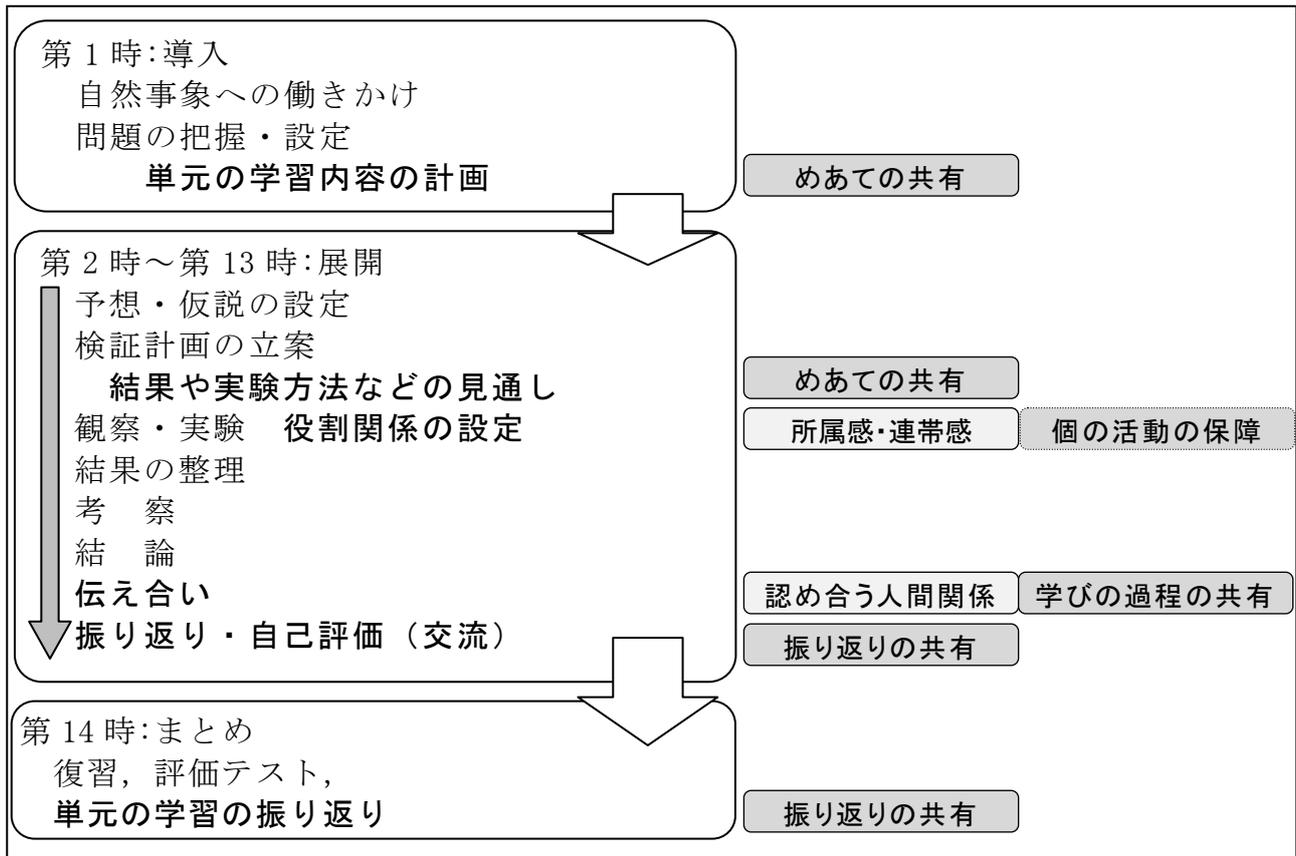


活動の位置付け例（理科）



○第6学年理科「水よう液の性質」第2・3時授業案例

<p><第2・3時>本時の目標…(技能)リトマス紙や実験器具を適切に使用することができるようにする。 (知識・理解)水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解できるようにする。</p>		<p>4. 結果を共有する。(5分) 「ほかのグループの結果もみてみましょう。」</p> <p>5. まとめた内容を基に、考察する。(15分) 「結果はどうなりましたか。」 ・赤が青に変わった ・変わらないものがあつた ・青が赤に変わった 「結果からわかることは何ですか。」 ・水溶液は三つの仲間に分けることができる。 ・塩素系と酸性と中性の洗剤はそれぞれの仲間に入っている。 水よう液は、酸性、中性、アルカリ性に分けることができる。</p> <p>6. 伝え合い (10分) 有能感 今日調べてわかったことを話すことができた。 他者受容 友だちに自分の説明を聞いてもらった。</p> <p>7. ワークシートに振り返りを書き、交流する。(5分) 自己決定 ほかの水溶液も調べてみたい。</p>	<p>○各グループの結果を一覧表に示す。</p> <p>*話型を示すことで、全員が学んだことをペアの児童に伝えることができるようにする。</p>
<p>学習活動 「教師の主な発問 ・予想される児童の反応」</p> <p>*支援 ○留意点 評価の視点・<方法></p>	<p>○水溶液の中には危険なものがあるので、教科書 p. 28, p. 29 を用いて、扱い方には気を付けることを指導する。また、常時確認できるようなシートを用意する。</p> <p>○リトマス紙は葉のついた紙で、少量の物質がつくだけでも色が変化するためであることを知らせ、ピンセットで扱うように指導する。</p> <p>*準備の仕方を示すことで、実験の結果をわかりやすく並べることができるようにする。 *ワークシートを用意することで、実験の結果をまとめることができるようにする。 *4人グループで活動するが、11本の水溶液を二人組2チームに分かれて調べるといふ役割を設定することで、表にまとめるときは話し合うことができるようにする。 ○時間があれば、結果からわかったことを話し合い、記録しておくように伝える。</p> <p>(観察・実験の技能) リトマス紙や実験器具を適切に使用している。 <行動・記録></p> <p>(自然事象についての知識・理解) 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。 <記述></p>		
<p>1. 水溶液の扱い方や実験の注意を知る。(15分) 「前回、水溶液の見分け方を考えましたが、水溶液には触ってはいけないものや、においを嗅いではいけないものがありました。水溶液を使うときに気を付けることを確認します。」</p> <p>リトマス紙を使って、水よう液をなかま分けしてみよう。</p> <p>2. 見通しリトマス紙の使い方を知る。(10分) ・リトマス紙は赤色と青色がある。 ・水溶液を付けたと色が変化する。</p> <p>有能感 リトマス紙の色の変化を調べれば、結果がわかりそうだ。</p>			
<p>3. リトマス紙を使って、6種類の水溶液と追加の2種類(ホウ酸の水溶液、砂糖水)とアルカリ性と酸性と中性の洗剤の性質を調べ、結果を表にまとめる。(30分)</p> <p>他者受容 実験の結果をグループのみんなに聞いてもらうことができる。</p>			